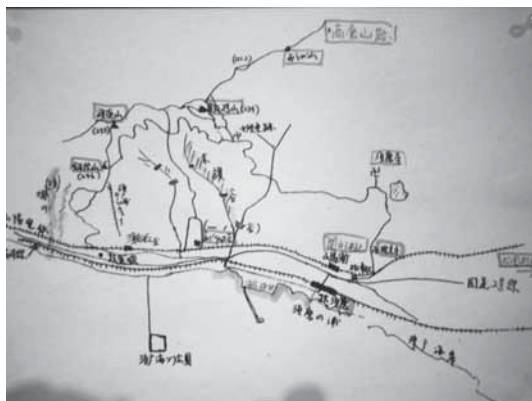


## 素人の見た須磨の地勢や植生、そして歴史

遠井方子（六甲山の自然に親しむ会）

### 活動記録

「六甲山の自然に親しむ会」は2000年から毎月1回、第3金曜日に六甲山を歩いて山の自然に触れています。2013年12月で165回を数えました。植物観察がメインですが、時には、その場所に立って、周辺を見て、地勢や山の成り立ち、人間の生活、関わる文学や歴史も感じる観察会も含んでいます。



昨年は六甲山の四季の楽しさが主になっていましたが、今回は須磨周辺の観察に絞りました。毎年冬場は少しコースを変えながら温暖な須磨を歩きます。その折々の観察記録です。

1. 須磨浦公園内のみどりの塔・・・阪神大震災のモニュメント
2. 須磨海岸植物や瀬戸内の照葉樹林の観察
3. 急峻な鉢伏山登山・・・山の成り立ち
4. 高度経済成長、列島改造論と須磨・・・高倉山
5. 風光明媚の須磨と断層の関わり
6. 自然と文化の関わり

平家物語一の谷合戦、源氏物語須磨の巻、謡曲の舞台（敦盛、松風、玄象等）

万葉集、摂津と播磨の国境（芭蕉等の句碑）、須磨離宮 等々

記録写真を見て、様子を読み取って頂きたいと思います。

